

会津に伝わる 悠久の心。

通りの向こうから、懐かしい笛の音が聞こえる。
幼いころ、よく祖母にせがんで連れて来てもらった祭りの笛の音。
「このお囃子は涼み」「これは登龍囃子」、ひとつずつ教えてもらった。
お囃子は、なまか遠い昔から知っている旋律のような気がした。
祭りのにぎわい、太鼓と笛の音、人々の熱気、
いにしえの人の心と、遠い日の記憶が交錯する会津の祭祀。

